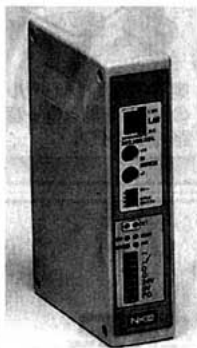


電 波 新 聞

汎用LAN用いたネット
ワーク構築が容易に行えるFLANインター
フェイス NKEが発売

NKE(京都府長岡京市、中村圭一社長)は、LANインターフェイス「UNGL-N1」(四万八千八百円)を二日から発売した。

「UNGL-N1」を「UNGL-N2」に発展統合させた「インテグレートイングシステム」を開発した。このシステムは、LANインターフェイス「UNGL-N1」のほかに「ユニゲートウェイ」から、LANインターフェイスを発売した。インテグレートイングシステム



NKEのLANインターフェイス

テムUNIは、ネットワークでの独立性、適応性、透過性を大切にし、NKE開発のユニワイヤシステムを新たにユニラインとして完全包括し、今まで不便に感じていたポイントを中心に解消させた画期的なシステム。

が、伝送手段も従来の有線だけでなく、光や電波など無線伝送にも対応できる。今回のLANインターフェイスの登場で汎用LANを用いたネットワーク構築が容易に行えるようになり、先行発売しているユニライン端末ユニットを組み合わせ、今までにない新しい形のアプリケーションが構築できる。

伝送距離やデータの送信間隔のフィールド設定なども可能にし、ユーザーの使い勝手の良さはもちろん、あらゆる環境に柔軟に対応できる製品となっている。UNGL-N1は本機同士の対一通信に特化した製品だが、PCやPLCをホストとした通信が可能なバージョンも間もなく発売する予定。

なお、新製品の主な仕様は次の通り。

- ▽伝送距離設定スイッチ装備
- ▽最大入出力点数二百五十六点
- ▽各種エラー検知機能装備
- ▽データの送信間隔の設定可能。

なお、新製品の主な仕様は次の通り。

- ▽伝送距離設定スイッチ装備
- ▽最大入出力点数二百五十六点
- ▽各種エラー検知機能装備
- ▽データの送信間隔の設定可能。